

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

団 体 名	小樽食育推進協会			
事 業 名	豊かな小樽の海と山の食材のことを知ろう			
実 施 期 間	令和5年6月25日から令和6年1月28日			
事業の目的及び期待する効果	山と海に囲まれた小樽の豊かな食材のことを子供たちに伝える機会を作り、地元の食材をもっと好きになってもらう。郷土愛が醸成され、その姿をみて観光客も小樽の食材を食べ、小樽を楽しんでもらえるようになる。			
実 施 額	事業費	310,800 円	助成額	300,000 円
事 業 内 容	対象はすべて小樽在住の親子。 子どもは幼児～小学生までとする。 ① かに釣り体験会開催 銭函の海でかに釣りを子供たちに体験してもらう。 その後、会場でかにの味噌汁を作る。 かにの生育について詳しい方にお話をいただいた(材料費、講師料は受け取っていただけなかった)。 集客にはかにのスライダーを用意し、楽しんでもらった。 ② 畑の収穫体験会開催 春香町の畑で枝豆、落花生を収穫する体験をしてもらった。 その場で茹でて食べるまでに行った。 ③ 猟師のお話会開催 春香山で狩猟をしている猟師がいるので講師をお願いし、狩猟の体験談や鹿が鹿肉として加工されるまでのお話を講演してもらった。 対象はゆっくりお話を聞ける小学生以上とした。 試食には鹿肉の煮込みを用意した。			

○事業の日程について

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
R5.6.25	かに釣り体験会	100 人	70 人
R5.8.26	畑の収穫体験会	20 人	20 人
R6.1.28	猟師のお話会	30 人	30 人

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

地域の親子が楽しみながら参加し、地元小樽の海や山の食材のことを身近に感じながら知識を増やし、それをまわりに広げることができた。

海や山のもの(かに、枝豆、落花生)は命のあるところから採取させていただいているということ、鹿は動物園にいるだけのものではなく住んでいるすぐ近くの山にいて、その貴重な命の恵みをいただくことをお話や調理や試食を通して体験してもらうことができ、スーパーに並んでいる食材はすべて誰かの手によって食材となっていることを小さい子どもたちにも知ってもらうことができた。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

参加した子供たちは、生きているかにや土付きの農作物を触ったり調理したりすることで、形や感触に新しい発見があって楽しいようであった。

また、親子での参加にしたことで、自宅でもその内容について話したり質問したりする機会が増えて、食材についての知識を深めるという目的も達成することができた。

3. 今後の事業について

今回使用したもの以外の食材をテーマにして今後も事業をおこない、小樽には豊富な食材があることを子供たちに体感してもらえるよう活動を行っていきたい。